



# ポノシキ



2025年(第1号)

**第1号**

令和7年10月31日発行

## 2025 コミュニティ・スクール よろしくお願ひします

### 学校運営協議会とは？

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）は、学校と地域住民、そして保護者の代表が一緒になり、学校運営の方針や、子どもたちのより良い教育環境について話し合う場です。

今までの学校運営は、主に学校が決めていましたが、学校運営協議会の仕組みでは、地域や保護者の皆様が「当事者」として学校の運営に参画し、学校を共に創っていきます。

地域の知恵や力を学校運営に生かし、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めることが目的です。



文科省紹介HP

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/community/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/index.htm)

平取養護学校では、本校部会とペテカリの園分校部会を組織し、今年度は全4回の学校運営協議会を開催することとしました。そのうち、1回目と4回目は合同開催、2回目と3回目は各部会開催となります。

また、今年度からCS通信を年2回発行し、取組の様子をお伝えいたします。

## 第1回学校運営協議会 が行われました

令和7年7月14日(月)、本校を会場に第1回学校運営協議会を開催しました。

会議の中で、委員の皆様へ辞令を交付させていただきました（任期2年）。委員長には、平取商工会会長・平取養護学校後援会会長の櫻井 幹也様、副委員長には、社会福祉法人静内ペテカリの園児童エリアマネージャーの工藤 しのぶ様を選出されました。

今年度は本校部会とペテカリの園分校部会合わせて13名の委員を任命させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

〈委員の皆様（敬称略 部会別 50音順）〉

| お名前        | 御所属                        |
|------------|----------------------------|
| 上林 孝治(本校)  | 苫小牧市福祉部障がい福祉課長             |
| 坂下 晋章(本校)  | 平取町スポーツ連盟理事長、平取町地域学校協働本部委員 |
| 櫻井 幹也(本校)  | 平取町商工会会長、北海道平取養護学校後援会会長    |
| 佐々木 章(本校)  | 社会福祉法人平取福祉会障がい者支援施設すずらん施設長 |
| 杉山 邦広(本校)  | 平取町町民課長                    |
| 野戸谷 睦(本校)  | 北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科教授     |
| 橋場 香澄(本校)  | 北海道平取養護学校PTA会長             |
| 三浦 武史(本校)  | 平取町教育委員会生涯学習課課長            |
| 井上 義則(分校)  | 北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校PTA会長   |
| 河原 秀幸(分校)  | 新ひだか町商工会長                  |
| 工藤 しのぶ(分校) | 社会福祉法人静内ペテカリの園児童エリアマネージャー  |
| 鈴木 悟士(分校)  | 新ひだか町教育委員会教育部管理課課長補佐       |
| 萩野 将一(分校)  | 新ひだか町教育委員会教育部ライディングヒルズ静内主査 |
| 山口 理絵(分校)  | 新ひだか町教育委員会教育部生涯学習課課長       |



# 第2回学校運営協議会が行われました

本校と分校で行われた学校運営協議会の様子をお伝えします。



## 本校部会の様子（9月4日開催）

今回は3名の委員が出席されました。

前半は、本校の学校概要と各学部の教育活動についての説明があり、委員から児童生徒の出身地や通学に関する質問などが出されました。

後半は、本校職員を交えて熟議を行いました。「地域と手を取り、咲かせよう！子どもたちの笑顔と未来」というテーマで、昨年度、本校職員を対象に行ったアンケートから今年実現できそうなことを選びました。PTA親子レクでの交流機会の設定、町の高齢者大学での本校生徒の発表機会の設定、新しい解釈での本校の推し活推進、委員紹介など、具体的な取組が提案されました。

今後は、実現に向けて、各委員と本校職員が力を合わせて取り組んでいくことを確認しました。



## ペテカリの園分校部会の様子（9月17日開催）

昨年度の運営協議会の熟議を受けて、ライディングヒルズ静内での実習が実現し、高等部生が馬房や館内の清掃活動を行うことができました。生徒の学びの場として、今後も継続していきたい旨をお伝えしました。

また、畑の肥料として馬糞の提供を受け、トマトの甘みが増した、収穫量が上がったように感じるなどの声が寄せられていることを報告しました。

今回の熟議の場では、現場実習や就労体験先を広げる観点から「清掃」「接客」などを体験できる機会の可能性について意見交換を行いました。その中で、静内温泉やアイヌ民族資料館での清掃活動の提案がありました。

今後は、教育委員会や役場、各施設関係者様と相談させていただきながら、第3回以降の会議で確認を進めていく予定です。



## 次回の開催予定日

【本校部会】11月27日(木)

【分校部会】11月26日(水)



## 本校、分校のHP紹介

学習の様子が御覧いただけます。二次元コードをスマホのカメラで読み込んでいただき御覧ください。

→  
本  
校



→  
分  
校

